

第2回小平市第2次健康増進計画検討委員会 要録

1 日時

令和4年3月18日（金）午後2時～午後3時20分

2 開催場所

健康センター4階 視聴覚室

3 出席者

小平市第2次健康増進計画検討委員会委員：12名（欠席者4名）

事務局：健康・保険担当部長、健康推進課長、健康推進課長補佐2名、
事務局職員3名

4 傍聴者

なし

5 配付資料

資料1 第2回小平市第2次健康増進計画検討委員会次第

資料2 こだいら健康増進プランの計画期間の延長及び次期プラン策定の基本方針の
変更について

資料3 こだいら健康増進プランの計画期間の延長及び次期プラン策定の基本方針の
変更について（令和3年12月9日決定）

当日配付資料 小平市民の健康に関する意識調査報告書（令和4年3月）

6 議題（次第）

(1) 開会

(2) 配付資料の確認

(3) 議事

① 小平市民の健康に関する意識調査報告書について

② こだいら健康増進プランの計画期間の延長及び次期プラン策定の基本方針の変更
について

③ 今後のスケジュールについて

④ その他

(4) 閉会

7 会議の概要

(1) 開会

健康推進課長、委員長より開会あいさつを行った。

健康推進課長より委員会の進め方について説明した。

(2) 配布資料の確認

事務局より会議資料の確認を行った。

(3) 議事

① 小平市民の健康に関する意識調査報告書について

小平市民の健康に関する意識調査報告書（令和4年3月）を用いて、調査概要や調査結果について説明した。

委員長：ただ今の説明について、ご質問やご意見があれば、お願いしたい。なお、ご発言いただく際は、挙手をいただくようお願いする。

各委員：質問なし。

委員長：国や都と比較して、小平市の結果が特徴的だった点を教えていただきたい。

事務局：報告書11ページの健康に関する意識については、国や都、前回調査と比較して、健康状態が良いと回答した方が多い結果となった。個別の点については様々あるが、全体としては、小平市民の健康意識は概ね良い傾向があると思っている。

委員長：私も調査結果を見て、小平市民は健康行動に取り組んでおり、健康な方が多い印象を受けた。

② こだいら健康増進プランの計画期間の延長及び次期プラン策定の基本方針の変更について

資料2及び3を用いて、こだいら健康増進プランの計画期間の延長及び次期プラン策定の基本方針の変更について説明した。

委員長：ただ今の説明について、ご質問やご意見があれば、お願いしたい。なお、ご発言いただく際は、挙手をいただくようお願いする。

委員：質問なし。

③ 今後のスケジュールについて

資料 3 を用いて、今後のスケジュールについて説明した。

委員長：ただ今の説明について、ご質問やご意見があれば、お願いしたい。なお、ご発言いただく際は、挙手をいただくようお願いする。

事務局：説明の補足として、先ほど来年度の検討委員会は 2 回と説明したが、令和 5 年 3 月の検討委員会は、場合によっては早めに開催する可能性がある。スケジュールは早めに連絡をするようにする。

委 員：質問なし。

④ その他について

第 3 回小平市第 2 次健康増進計画検討委員会について説明した。

委員長：全体を振り返って質問やご意見はあるか。

委 員：今回の調査で一番のポイントは、健康に関する意識だと思う。報告書では、性・年齢別の結果を出しているが、職業別の結果はあるか。

事務局：必要に応じて対応させていただく。

委 員：このような定期的に行う調査のとりまとめについてだが、今回は、今年の結果をグラフで掲載し、前回は数字としている。見る側としてはとても分かりづらいと思う。都では、棒グラフを重ねる形でまとめている。分かりやすくまとめると、市民も結果を踏まえ、どう動くべきか考えるようになると思う。その一つの提案が棒グラフでの掲載である。

委員長：次回から生かすことができるとよいと思う。見やすさは大事だと思う。

委 員：報告書 11 ページについて、国や都と比較して、健康状態がよいと回答した方が多いとのことだったが、理由となる小平市として行っている取組があれば教えていただきたい。

事務局：様々な理由があると思うが、市で行っている取組でいうと、歩いてポイントを稼ぐと 500 円分の商品券がもらえる健康ポイント事業など、様々な取組がある。また、定期的な検診や健康診査も行っている。

委 員：様々な取組の具体的な内容や特に力を入れている取組を教えていただきたい。

事務局：すべて力を入れているが、今挙げた健康ポイント事業は力を入れている事業の一つである。スマートフォンにアプリを入れて、歩数をカウントしてポイントを稼いだり、健康動画を視聴してポイントを稼ぐことができる。コロナ禍であるため、集まって行う事業が難しいなかで健康ポイント事業は、力を入れて進めているところである。

委員長：市の住みやすさも健康に影響していると個人的には思っている。

委 員：都の行政区や 26 市と小平市を比較して、コロナ禍前後で健康状態の変化が

あったかなど、小平市の健康状態はどの位置付けにあるか、分かれば教えていただきたい。

委員長：なかなか難しいと思うが、そのようなデータはあるか。

事務局：同じ調査を同時に行っているわけではないため、比較をすることは難しいが、今後、検討委員会を進めていくなかで、必要なデータがあればできる範囲内で確認をしたいと思う。26 市の中でどの位置付けにいるかは把握できていないが、順番をつけるものでもないと考えている。

委員：同じような市の市民が同じようなことを行ってもその効果が同じとは限らない。そのような中でできる限り効果を出せるようにすべきだと思う。先ほどのデータは都で行政区ごとのデータを出している。今そのデータを持っているため、報告させていただく。平成 25 年と令和 2 年を比較した結果だが、小平市はどの結果でも中間に位置している。できるだけ、様々なデータを開示して委員の意見を聞いていただけるとよいと思う。

委員長：時間も限られているため、次回から事前に必要なデータなどお伝えいただき、可能な範囲でデータを出せるとよいと思う。

(4) 閉会

委員長より閉会あいさつを行った。

以上